

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		のびのbe-サポート あおの丘				公表日	2025年 12月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	状況に合わせて配置変更を速やかに行えている	構造化するためのスペース確保が必要だと考える	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	6	可能な限り、必要な場所への配置を考えている	見守りが必要な場所、人に対しての配置に少々不安があるため、改善策を考えている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		広い空間での過ごし方について、穏やかに過ごすための環境について考えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		日々の清掃と消毒は丁寧に行っている		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個室スペースを確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		必要に応じて、支援会議を開催している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者様よりいただいた評価表を回覧している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		話しやすい職場づくりを心掛けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10		今後の検討必要だと考えている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修参加や外部講師を招いた職員全体研修を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		前回アセスメントとの比較をしやすいシートを使用して、分析できるよう行っている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		関わるスタッフと再アセスメントを行なながら、モニタリングや計画の見直し、検討を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			新たな課題が見えてきた時に、迅速に対応できるよう情報共有を図っていく	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		日々の記録について、付箋紙を使用して全員が閲覧できるように取り組んでいる		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		ご本人のニーズを確認することが難しいため、スタッフ間での共有だけでなく、ご家族や関係機関への確認をより密に行っていく必要がある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		長期休暇期間中の予定表作成に関して、児童の皆さんにやりたいことを聞いており、可能な限り、活動内容に組み込んでいる		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			新しい活動内容を取り入れるための情報収集を定期的に行っていく	

供 託	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	3	活動に応じて、集団と個別の支援を提供している	集団活動への参加を希望されない児童の方への小集団での活動提供を継続して提示しているが、どのような支援があるかを考え続けている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		一日の業務日誌で当日の動き等を確認できるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		10	勤務形態によって退勤時間の違いがあるため、情報を共有できるように、日頃の支援の様子や気になった点については、付箋紙を使用して情報を共有している	情報共有の場として、支援会議を継続して開催していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10		季節に合わせた創作活動や地域資源を使用した経験の場の提供や調理活動等、活動を提供している	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	4	日々の活動内容や遊びの時間など、どこで過ごしたいか、何をしたいか、選択できるようにツールを提示して児童本人が選択する経験を重ねている	選択がしやすいように提示はしてるが、それによって選択できる力が身についているかの判断が難しいため、関係機関やご家族との情報共有を継続して行っていく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4		関係機関との連携を強化していく必要があると考える
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			情報共有が必要な場面が多いため、継続して共有の場をつくっていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		事前に情報を聞かせていただいている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		支援内容や本人の得意、好き、興味関心等、保護者様の許可のもと、必要な情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10		今後検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	10		事業所内での交流の機会を提供している	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	10		児童部会への参加をしている	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		帰り送迎時、保護者様との引継ぎを行っている為、その場でやり取りを行うことが出来ている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8	連絡ツールを使用して、家庭内での困り感や支援についてのやり取りを行っている	必要に応じて、情報提供を継続して行っていく
機 構 の 運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		10		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		10		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		10		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	3		困り感の相談に対して受け答えができるよう、スタッフのスキルアップを図っていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		10			今後検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		10			ご意見を参考にしながら、改善に努めていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	4		SNSを使った活動報告を定期的に行っていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		10		避難訓練を年2回実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		10		机上訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		10		年度開始時にアンケートを実施しており、児童の状況確認を行っている。また、アンケート後の変化についても、都度更新している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		10		外出活動を提示した場合、スタッフが事前に現地へ向かい、下見を行っての安全確認に努めている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		10		スタッフ全体に回覧を行い、再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		10		職員全体研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		10			